

2022 年度 岡山大学医学部医学科オープンキャンパス(2022 年 8 月 6 日(土)開催)

いただいたご質問と回答について

2022 年 8 月 6 日に開催いたしました 岡山大学医学部医学科オープンキャンパスでは、たくさんのご質問をいただき、誠にありがとうございました。

いただいたご質問と回答を下記に記載いたします。(順不同)

【岡山大学医学部医学科や在学中のカリキュラムについて】

Q1. 国内にたくさんある医学部の中で岡山大学医学部医学科の特徴を教えてください。

A1-1. オープンキャンパスの中で説明したことは全て岡山大学医学部医学科の特徴です。

追加するとすれば、岡山大学医学部医学科は長い歴史や伝統があり、岡山大学病院の関連病院を含む多くのサポーターがいます。関連病院が多いということは相談できる人が多く、また、研究でも医療でも進めやすくなることが多い。どうしても偏差値で大学を決めることがあると思いますが、偏差値にはない魅力が岡山大学にはあります。岡山は人が多く交わる地域でもあり、多様性があります。

A1-2. 在校生から見た岡山大学医学部医学科の魅力は、国際バカロレア選抜を全国に先駆けて導入し、学生へのサポートも大変厚いこと、また、同級生や先輩方はそれぞれで色んな活動をしていて、視野が広い学生がいるなど感じます。医学研究インターンシップや選択制臨床実習で、正課内で海外に出るチャンスがあるということも大きな魅力と感じています。

Q2. 解剖実習とはどのようなことをするのですか。

また、心療内科医になりたいと思っていますが、その場合も解剖実習は必須ですか。

A2. 解剖実習とはご遺体の全身を解剖させていただき、人間を学んでいただくものです。

ご遺体から学ぶことは大切なことです。生命に対する畏怖の念を学んでいただきたい。

医学生の学修環境は、大学の教職員だけではなく、国民の多くの方々の協力の上に成り立っていることを理解する大切な機会でもあります。

また、日本では医学生が学ぶべき事を「モデルコアカリキュラム」として定めています。人体の構造は学ぶべきことのひとつであるため、医学部医学科では将来希望する分野にかかわらず、解剖実習は必修科目です。

Q3. 3年生の「医学研究インターンシップ」ではどのような分野の研究ができるのか教えてください。

A3. 岡山大学医学部医学科では、3年次に「医学研究インターンシップ」という科目を開講し、3ヶ

月間他の授業は開講されず、学生はその期間に研究に従事します。「医学研究インターンシップ」では、学内コース、学外コースがあり、学内コースの場合、岡山大学医学部医学科の各講座が行っている研究を体験することができます。

岡山大学医学部医学科には生理学、生化学、病理学などのような基礎医学系、疫学、公衆衛生学、法医学などのような社会医学系、内科、外科、精神科、小児科、皮膚科、耳鼻科、眼科、麻酔科などのような臨床医学系の約45の講座があります。それぞれの講座が特徴的な研究を行っており、学生はその研究チームの中で研究の進め方を学ぶことができます。

Q4. 岡山大学医学部医学科ではオンライン授業は多いですか。

A4-1. 可能な限り対面での実施を推奨していますが、現状は、感染状況によって柔軟に対応しなくてはなりません。

A4-2. 在校生から見ると、対面が増えてきている印象があります。同級生と一緒に講義や実習を毎日受ける機会があり、それほど心配する必要はないと感じています。

Q5. 岡山大学医学部医学科では学生が総合診療にどのように携わることができますか。

A5. 地域医療と総合診療は大変親和性が高く、学生は3年次に地域医療体験実習で地域の現場での総合診療に触れることができます。

また、4年生では総合診療を系統立てて学ぶ機会があり、患者さんとの関係の作り方なども学ぶことができます。

5年次の基本臨床実習、6年次の選択制臨床実習では「総合診療」のコースがあり、外来診察やベッドサイドでの実習を行います。

3年次の医学研究インターンシップでも総合診療科で研究面からの学びを得ることも可能です。

Q6. 岡山大学医学部医学科の研究についてもっと教えてほしいです。

A6. 先述のとおり、岡山大学医学部医学科には生理学、生化学、病理学などのような基礎医学系、疫学、公衆衛生学、法医学などのような社会医学系、内科、外科、精神科、小児科、皮膚科、耳鼻科、眼科、麻酔科などのような臨床医学系の約45の講座があります。それぞれの講座が特徴的な研究を行っています。それぞれの講座のHPには研究について紹介されていますので、一度ご覧ください。

<https://oumed.okayama-u.ac.jp/med/education/professors/>

Q7. 岡山大学医学部医学科でSDGsを意識した取組はありますか。

A7. 「4 質の高い教育をみんなに」は意識しています。

それ以外でも医学系は大変多くの取組事例があり、HPでも公開しています。

(医学部の取組)

https://sdgs.okayama-u.ac.jp/efforts/?exec=search&new=1&m_department_pk=147

(医歯薬学総合研究科の取組)

https://sdgs.okayama-u.ac.jp/efforts/?exec=search&new=1&m_department_pk=135

Q8. ①岡山大学医学部医学科を卒業していなくても岡山大学医歯薬学総合研究科に入ることができますか。

②岡山大学医歯薬学総合研究科で岡山大学医学部医学科以外の出身の方の割合を教えてください。

A8. ①はい、可能です。歓迎しています。

②おおよそ半分ずつです。

【在校生への質問:学生生活について】

Q9. 勉強, 部活, バイト, 遊びの比率を教えてください。

A9. 25%ずつで割り振っているように思います。勉強やバイトが忙しすぎて遊ぶ時間がないということはないです。

Q10. 休日にはどのようなことをしていますか。大学周辺に楽しいスポットはありますか。

岡山大学医学部医学科に入学され、楽しい大学生活を過ごされていますか。

A10-1. 休日の過ごし方については時期にもよりますが、試験期間中だと勉強、試験期間外だとバイトをしたり、友達と遊んだり、部活をしています。先月は友達と花火大会に行ったり、大山で登山などしました。

大学周辺には楽しいスポットはたくさんあります。学生街なので美味しいお店や遊べる施設はたくさんあります。夏のシーズンでは後樂園の幻想庭園、夏祭り、毎月第一日曜日の朝市など様々なイベントが開催されています。

勉強は大変な時もありますが、とても充実した楽しい毎日を過ごせていると思います。

A10-2. 休日は、友達と会ったり、家でのんびりしたりしています。大学は岡山駅の近くで、岡山の中では一番にぎやかなところですが、川が流れていたり緑道があったり自然も多いですが、おいしいお店などもたくさんあります。かわいくておしゃれなカフェやパン屋さん、個人経営のこだわりの食べ物屋さんなども多く、行きたいところがたくさんあるので、友達と遊ぶときは、大抵おいしいものを食べに行くときです。

近くには大きなイオンもあり、映画館も入っています。

また、岡山は色々な県にも近いので、少し遠出するだけで様々なところに行けます。電車でも他の中国地方の県や関西までもすぐですが、友達とドライブでちょっと四国まで行ったり、瀬戸内海の島に遊びに行ったりもできます。日帰りでも行けるので、そういうところも岡山の魅力かなと思います。

入学当初は、コロナで行動が結構制限されていた部分もありましたが、部活も含め、友達と楽しい大学生活を過ごしています。

【入試や高校での過ごし方について】

Q11. 大学入学共通テストと個別学力検査の配点を変更した理由を教えてください。
二次試験に強い学生を求めているということでしょうか。

A11. 入学された学生さんの在学中の成績、卒業試験の成績、国家試験の成績などを調査し、入学試験の成績とあわせて分析した結果に基づき、配点を変更しました。

Q12. 二次試験の面接での評価基準や点数の付け方を教えてください。
また、学校推薦型選抜の面接で特に求めることがあれば教えてください。

A12. 面接試験はアドミッションポリシーに基づき、実施しています。
求める人材についても記載していますので、ご参照ください。

<https://www.okayama-u.ac.jp/tp/admission/policy20.html>

また、面接は総合判定として使っています。配点はありません。

Q13. 漠然と医療に興味があるものの、医学部への進学動機がまだ曖昧なため、学部選択の際に大切にしてほしいことを教えてください。

A13-1. 医学部選択の際に大切なことは、「人を思いやる心」、「人の痛みを共感できる心」、「人の痛みを癒したいという心」、「他人を助けたいと思う心」、「利他の心」がとても大切だと思います。次に大切なことは生命現象への興味だと思います。この中には健康や病気についての興味も含まれます。

A13-2. 自分が将来どのように役立ちたいか、どういう職業ならやっていけるかなどから考えてみるのは如何でしょうか。自分が医学部を選択した理由は、人と接するのが好きなことと、様々な病気を治したいという思いから医学部に進学しようと考えました。

A13-3. 私は進路を決める時、様々なことに興味があり迷っていたのですが、医療もそのうちの一つでした。今も他の興味を失ったわけではないですが、医学部が一番難関な道だったので、まずは医学に挑戦しようと思い進路を決めました。

漠然と医療に興味を持つ気持ちはわかります。難しいかもしれませんが、その漠然な興味を自分がなぜ持っているのかを考えて追求していくと、より自分の気持ちがわかってきて、それが進学動機を見つけることにつながっていくと思います。

また、自分が今決めた進路が全てになるわけではないので、まずは自分が今一番興味を持っていて惹かれるものが何なのかを考えるといいと思います。

Q14. 医学の道に進むのか別の道に進むのか決められていません。

他の間にはない医学の面白さや良さ、または、医師として働く中でのやりがいについて教えてください。

A14. 色々な学問はそれぞれ固有の面白さがあると思います。医学の面白さは、生命現象の不思議さを少しずつでも解き明かしていくことです。どうして身体や心の病気になるのか、どうすれば治るのか、どうすれば予防できるのか、どうすれば身も心も元気で暮らしていけるのか？医学はこのような問いに対する答えを追求します。そして、医師は、病気の患者さんが元気になる・笑顔になるのを医学の知識をもって支援します。入院して治療を施した患者さんが元気に退院される時は、本当にうれしく、医師としてのやりがいを感じる瞬間です。さらに、医師でも、行政や公衆衛生医師として、政策などを通し、住民の健康維持・疾病予防に貢献することもできますし、医学研究者として疾病の予防方法・新たな治療法の確立に貢献することもできます。様々な方法で人の健康に貢献できる職業だと思います。

Q15. 2025年度から入試科目に「情報」が入りますが、岡山大学医学部医学科の方針を教えてください。また、既卒生への対応についても教えてください。

A15. 2025年度実施の入試については、現在全学的に検討中です。
確定しましたら、HPで公開予定です。

Q16. 高校3年生の今やっておくべきことを教えてください。

高校2年生の夏にやっておくべきことを教えてください。

高校3年生になるまでにやっておくべきことを教えてください。

A16. 医療に関する情報についてアンテナを高く張っておいてください。

例えば COVID-19 を通して、ウイルスとは、感染症とは、ワクチンとは等の医療の課題を学ぶことができます。少しずつ自分なりに調べて掘り下げていただきたい。

また、医学を学ぶ上で英語は大切です。医学に関する情報を英語で読むなども心がけてください。

加えて、たくさんの本を読んだり、先生や友達と話しをしたりして、自分とは異なる多様な価値観に触れる機会をたくさん作ってください。

Q17. 在学生の方が受験生のとき、自分が学びたいことはハッキリしていましたか。

A17. 明確ではありませんでした。脳疾患に興味を持っていたため、医学部医学科に進学しようと考えていました。入学してから様々な分野について学べますので、すごく面白いと感じる分野や少し苦手だなと感じる分野が出てくると思います。少しずつ積み重ねることで、自分のやりたいことが分かってくるのではないかとワクワクしています。

Q18. 岡山大学医学部医学科の国際バカロレア選抜で求められる IB スコアはとても高いのですが、在学生の方は受験時にどのような勉強をされましたか。

A18. 勉強はフラッシュカードを使って勉強しました。過去問は10年分くらいしました。

スコアは設定されている基準を超えさえすればいいと思います。そこからは、自分が大事にしたいこと、自分の興味があることを伸ばしていくことが国際バカロレア生に求められていることだと思います。

Q19. 在学生の方に質問です。

高校のときに、物理と生物のどちらを勉強した方がいいですか。

A19. 高校在学中には生物、化学を学びました。入学してから1年次に物理に関連する科目がありますが、先生がとてもわかりやすく丁寧に教えてくださったので、授業を理解することができました。同級生を見ると高校在学中に物理を学んでいる学生が多いように感じます。

ですが、同級生も入学後に生物系の科目についていけないという様子はなく、高校で生物を学んだ学生も、きちんと基礎からおさらいができる授業もありました。

Q20. 在学生の方に質問です。

高校1年生のとき、どのような高校生活を送っていましたか。

A20. 高校1年生のときは部活や課外活動、遊びにもしっかり取り組んでいました。

高校3年生になって進路を考えて、必死で勉強したように思います。

【地域枠について】

Q21. 地域枠への出願を考えています。

高校生活で大切にしておくべきことを教えてください。

A21. 受験勉強はしっかり取り組んでください。

その上で多様な価値観に触れるように、たくさん本を読んだり、先生や友達と話をするようにしてください。

Q22. 昨年度地域枠に合格した受験者の共通点があれば教えてください。

また、学校推薦型選抜は一般枠との併願は可能でしょうか。

A22. 昨年度合格者に限らず、真面目に色んなことを一生懸命取り組む学生が多いように思います。

学校推薦型選抜で合格したら前期日程を受けることはできません。不合格だった場合は前期日程を受けることができます。

Q23. ①地域枠コースの義務年限について教えてください。

産前産後休業の取得によって、義務年限は延びるのでしょうか。

②高校で課題探求学習を行っています。探求テーマが医学と直接関係があるかどうかで面接等での有利不利はありますか。

A23. ①各県のホームページ等に掲載されている「キャリア形成プログラム」をご確認ください。例として、岡山県の制度についてお示しいたします。労働基準法、所属先の就業規則等により取得する「産前産後休暇」期間は通常勤務の扱いとし、「育児休業」は義務年限外として取り扱います。

②課題探求テーマでの有利不利はありません。

【その他】

Q24. 今回のオープンキャンパスは Live 方式となり、有意義な時間ではありましたが、大学へ行ける事を非常に楽しみにしていましたので、大変残念でした。高校生や一般の者が大学見学(大学の雰囲気を感じられる)できるような行事、イベント等ありましたら教えてほしいです。

A24. せっかく楽しみにしていただいていたのに、オンキャンパスでお会いして、大学を見ていただく機会を設定できず、誠に申し訳ありませんでした。近々では、10月22日(土)に鹿田キャンパスでホームカミングデーを予定しています。詳細については改めてHPで公開します。